

国内外交流が盛んなまちづくり



交流

Exchange

吾岐市には、自然や歴史的文化的遺産など豊富な交流資源があります。また、九州と韓国の中間に位置し、歴史的にも大陸との交流が盛んな地域でもあります。今後は、この地域特性を生かし、あらゆる分野での多様な交流と、国際交流を推進するため、学校教育や社会教育などを連携させて、外国の言語や文化を学ぶ機会を充実していきます。また、地域の活力を育むため、市民の理解・協働のもと、国内外交流を促進するための施設および体制づくりを推進するとともに、国際感覚豊かな人材の育成や、吾岐を来訪する外国人のための受け皿づくりについても進めていきます。

交通

Traffic

道路については、地域活性化の基盤となる幹線道路における交通円滑化・安全性向上のため、国道、主要地方道、一般県道、1級・

交通機関		(平成17年)
距離	交通機関	所要時間
長崎空港から(北約94km)	飛行機	30分
福岡市博多港から(西北約76km)	フェリー(郷ノ浦港)	2時間20分
福岡市博多港から(西北約67km)	フェリー(芦辺港)	2時間10分
	ジェットfoil(郷ノ浦港)	1時間10分
	ジェットfoil(芦辺港)	1時間5分
唐津市呼子港から(西北約26km)	フェリー(印通寺港)	1時間10分
対馬市厳原港から(南東約68km)	フェリー(郷ノ浦港)	2時間5分
	フェリー(芦辺港)	2時間15分
	ジェットfoil(郷ノ浦港・芦辺港)	1時間

道路		(平成17年)
国道	19km	
県道	87km	
市道	1,413km	
計(道路延長)	1,519km	



2級市道の計画的な道路整備による、幹線道路網の形成を図っていきます。

生活道路といわれる市道は、道路整備や維持・補修に努め、機能性・利便性・快適性の向上を図り、生活に密着した安全で人に優しい道路として逐次整備を進めていきます。

交通手段については、高齢者や子どもなどの通院・通学のため、また、買い物など日常生活の移動手段として、乗合バスを確保し、運行体制を維持しつつ、地域の実情に応じた運行形態の見直しを行っていきます。

情報・通信

Information and communication

近年の情報通信技術の発展は、めまぐるしい速度で進展しています。大きく変化する社会・経済・生活環境を、より豊かに実感できるまちづくりの手段として、情報・通信基盤の整備、住民の情報活用能力の向上による住民参加の情報ネットワークづくりを進めていきます。